



楽しかった夏休みの思い出を胸に いよいよ2学期がスタートします！



暦の上では、処暑（しよしよ）」の頃（暑さもようやく峠を越え、和らぎ始める頃）です。心なしか朝方は和らいているように感じますが、日中は、まだまだ猛暑・酷暑が続いています。当分は熱中症に気をつけながら活動をしていかなければと考えています。

今年は台風の影響で登校日がなく、38日間休みが続く夏休みでした。両手に夏休みの作品を抱え、元気に登校してくれた子供たち。2学期がスタートし、学校に子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。今週は、学校のリズムを取り戻すために短縮授業としています。子供たちにも「38日も学校が休みで、

自由に過ごす、学校のリズムを取り戻すのは大変です。朝起きるのが辛かったり、いきなり5時間も6時間も勉強したりするのは、とてもきついものがあります。まだまだ暑くて、みんなの体力も心配です。

そこで、今週は短縮授業と言って、午前中4時間だけ勉強をして、給食・昼休みをしたら下校することにします。少しずつ学校のリズムを取り戻していきましょう。まずは、全員が頑張っって早起きをして、学校に来ることを目標にしましょう。それだけでもりっばなことです。心と体の健康に気をつけて、2学期もみんな楽しんで思い出をつくっていきましょう。先生たちが全員でそれを支えます。心や体が辛かったり、何か心配事があったりしたら、誰でもいいので相談してください。」という話をしました。この時期、子供たちの自殺が一番多い時期でもあります。みんなですっかりと子供たちの様子を見ていかなければならないと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。子供たちが持ってきた夏休みの力作。見ているだけで楽しくなりました。来週開かれる校内夏休み作品展が楽しみです。授業参観の折、ぜひご鑑賞ください。



2学期がんばりたいこと 3年 OO OOさん

ぼくは、2学期にがんばりたいことは、3つあります。まずは、社会のべん強です。1学期には地図記号をおぼえることが大変でした。特に、工場の地図記号をおぼえることがとてもむずかしかったです。でも、何度も見ていたら、おぼえることができました。これから、また、たくさんの地図記号をおぼえられるようにがんばりたいです。

次に、漢字をおぼえることです。ぼくは、漢字が苦手なので、ノートにたくさんか書いてまちがえないようにおぼえたいと思います。お母さんに「上手だね。」と言ってもらえるように字をていねいに書いて、いっしょうけんめい練習したいと思います。

さい後は係活動です。

1学期は、まだ係でした。まだ係では、仕事をわすれてしまうことがあったので、2学期はわすれず、どんな仕事でもいっしょうけんめいがんばります。



1学期に学んだことと、2学期にしたい私

4年 OO OOさん

1学期に学んだことが二つあります。

一つ目は、「一語一恵」という言葉です。先生から「一つの言葉に一つの知恵があると言うことだよ。」と教えてもらいました。だから、1学期にたくさんのことを学ぼうという気持ちで生活することができました。

二つ目は、平和について学びました。今世界には、核へいきが増えていることを知りました。そして、戦争は最大の差別だと学んだので、私は、人に差別することなく、やさしい人になろうと思いました。

2学期になりたい私は二つあります。

一つ目は、人にめいわくをかけない私です。理由は、人にめいわくをかけると信用されなくなるからです。

二つ目は、やさしい私になることです。やさしくゆずり合いができないと、差別や戦争が起こると考えたからです。私は、だれにでも平等にせし、差別をしないやさしい人になり、これからの4年生の生活をがんばっていきます。



夏休みにコッペが手術を受けました。 8月25日

始業式でコッペについて話をしました。次のようなことです。「みんなにお知らせとお願いがあります。うさぎのコッペのことです。実は夏休みが始まってすぐ病院に入院をしました。山中動物病院に1か月入院をして、先週の金曜日に手術をしました。左目の周りに腫瘍と言って、悪いできものができて、それを取り除く手術をしたのです。とても怖かったらうし、痛かったと思います。でも、コッペはものすごく頑張りました。

抜糸といって、傷口を縫った糸がとれると退院することができます。たぶん来週には潮見小学校に帰ってこれると思います。

しかし、お医者さんから言われてことがあります。そのことをみんなに伝えます。ウサギの寿命は普通5・6年だそうです。コッペは2年生のみんなと一緒に、今年8歳になります。ほかのウサギより頑張って生きています。しかし、今回大きなできものができました。手術をしたんですが、全部取り切れなかったそうです。

いつ、また残ったできものが悪さをしてコッペを苦しめるかわかりません。そのことを覚悟してくださいとのことでした。コッペはお年寄りです。今度病気になったら命にかかわるかもしれないということです。そのことを分かったうえで、最後まで看取る覚悟をもって、全員でかわいがってほしいと思います。

他の学校では、12歳まで生きたウサギもいるそうです。コッペが戻ってきたら少しでも長生きできるよう、コッペの命が尽きるまで、飼育委員会を中心にみんなで気にかけてほしいと思います。」 どの子も真剣に聞いてくれたことが嬉しかったです。また、コッペの飼育を通して、生き物を飼うことの責任についても学んでいきます。



第3回集団下校を実施しました。 8月29日

潮見小学校では、災害に備え、素早く地区ごとに集まり、集団行動（下校）ができるよう定期的に「集団下校」を実施しています。

前回6月の大雨時に備えて以来の実施です。夏休み明けということもあり、自主的に動ける児童が少なかったのは残念でした。改めて、いざという時に役に立つよう、繰り返しやっていたいかなければと思っています。

今回も暑い中、民生委員の方々に来てくださり、一緒に下校をしてもらいました。その中で、嬉しいことをお聞きしましたので紹介します。

2学期が始まって最初のこの日、いつも通り登校の見守りをしていると、複数の児童が「いつも見守りありがとうございます。2学期もよろしくお願ひします。」と言ってくれたそうです。こんなことは初めてで、とても嬉しかったとのことです。

こういうことが自然と言える子供がいること…、しかも複数の子供たちが言ってくれたこと…。この話を聞いて本当に嬉しくなりました。



熱中症対策は万全か？ 8月27日長崎新聞より

8月27日の長崎新聞に「安全確保へ求められる再点検」「部活動の熱中症対策は万全？」という見出しで、記事が出ていました。夏休み期間の部活動の熱中症対策についての相談が保護者から「ナガサキポスト」に寄せられたとのこと。これが双方向型報道窓口なので、このことについて記者が関係機関に調査し記事として載せられていました。あくまで記事の中心は、中学校部活動でした。このことは、夏の甲子園大会でも議論がありました。小学校に置き換えると昼休みの遊びや社会体育における「熱中症対策」は大丈夫かということになると思います。

気象庁が出している「熱中症警戒アラート」とは、熱中症の危険性が極めて高くなるとの予報で、「暑さ指数」が33以上と予測された時に、当日の朝までに発表されます。また、下に載せているのは、県教委のガイドラインに基づいて定めた熱中症予防運動指針です。潮見小学校でも、「暑さ指数」を体育や昼休み等（運動場）で定期的に計測して、運動場での体育の是非や遊び方等を子供たちに知らせています。まだまだ、猛暑が続く中これらの安全対策をしっかりとやっていきます。

熱中症予防運動指針

暑さ指数 (WBGT)	指針と主なポイント		気温 (参考)
31 以上	運動は原則中止	◆特に子どもの場合は中止すべき	35 度以上
28 ~ 31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	◆激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動を避ける ◆10 ~ 20 分おきに休憩し水分・塩分を補給	31 ~ 35 度
25 ~ 23	警戒 (積極的に休憩)	◆激しい運動では 30 分おきに休憩	28 ~ 31 度
21 ~ 25	注意 (積極的に水分補給)	◆熱中症の兆候に注意し、運動の合間に積極的に水分・塩分補給	24 ~ 28 度
21 未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	◆市民マラソンなどでは熱中症に注意	24 度未満

県教委「熱中症対策ガイドライン」などを基に作成